

平成21年12月18日

ストームドレン系からの水の放出再開について

当所は、[平成21年12月15日](#)、「放射性廃棄物処理系配管の誤接続に関する調査状況とストームドレン系からの水の放出再開について」でお知らせしているところですが、準備が整ったことから12月17日よりストームドレン*¹系からの水の放出を再開しましたのでお知らせします。

なお、放出に先立ちストームドレンタンク内に貯まった水のトリチウム*²の測定を行い、検出限界値*³未満であることを確認しております。

<トリチウム測定および放出再開日>

- 1・2号機 12月17日
- 3・4号機 12月18日
- 5・6号機 12月18日
- 集中環境施設 12月18日

以 上

* 1 ストームドレン

空調機の凝縮水、結露水および点検などで排水される非放射性の水。

* 2 トリチウム (※)

水素の仲間地球上のどこにでもある放射性物質で、原子炉の中でも発生しており、復水系の水にも含まれている。

なお、トリチウムは、年間放出管理の基準値以内での管理を実施し放出している。昨年度1年間の発電所からのトリチウムの放出量の実績は 1.6×10^{12} ベクレルであり、これによる年間の線量は、0.001ミリシーベルト未満。

* 3 検出限界値

一般的な試料の測定において、放射能が原理的に測定できる下限値。

【平成21年12月21日訂正】

平成21年12月18日掲載時、(※)の箇所の記載に誤りがございました。お詫びして訂正させていただきます。

(誤) 昨年度1年間の発電所からのトリチウムの放出量の実績は 5×10^{11} ベクレル

(正) 昨年度1年間の発電所からのトリチウムの放出量の実績は 1.6×10^{12} ベクレル